

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（みどりかわ） 緑川森林計画区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、熊本県中部に位置する、宇土市ほか1市4町に所在する約14千haの国有林野を対象としている。本計画区の森林の現況は、人工林を主体とした育成林が約7.3千ha（人工林率53%）、天然林が約5.9千haとなっており、主な樹種として針葉樹ではスギ、ヒノキ、ツガ類、モミ、広葉樹ではナラ類、ブナ、クリ、カエデ類などとなっている。</p> <p>本計画区は、緑川の源流域に位置し、森林面積の96%が水源かん養保安林で、宇城市をはじめとする下流域の水がめとして重要な役割を担っており、良質で豊かな水の供給に係る機能の発揮を目的とする水源涵養タイプの森林となっている。また、市街地や農耕地付近に隣接する国有林では、土砂の流出・崩壊等山地災害の防止を目的とする山地災害防止タイプの森林となっており、山地災害の防止等にも重要な役割を担っている。</p> <p>さらに本計画区では、木材の持続的・計画的な供給に努めることとしており、地域の林業・木材産業の活性化にも貢献することとしている。</p> <p>なお、本計画区には、九州中央山地国定公園など、自然公園やレクリエーションの森等があり、森林レクリエーションや保健休養の場として、保健・文化・教育的利用等に供されている。</p> <p>本事業は、森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能、地球温暖化防止や保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給及び地域の活性化にも積極的に貢献するため、植栽等の更新作業や間伐等保育作業の森林整備を積極的に推進するとともに、必要な路網の開設・改良等を実施するものである。</p> <p>事業の実施にあたっては、これまでの評価結果等を踏まえ、効果的かつ効率的な実施に努め、国土の保全、自然環境の保全等に十分配慮しつつ、伐採事業との一体的な伐採造林一貫作業システムの定着、花粉発生源対策の加速化を図るため花粉の少ない苗木の導入、下刈の回数を減らす等の低コスト造林の導入・定着や、UAVやICT、リモートセンシングの活用など新たな林業技術の導入等によるトータルコストの削減に取り組む。また、路網の整備においては、森林の公益的機能が高度に発揮されるよう施業方法に応じた計画的な低コストで強靱な林業専用道の開設及び既設林道の機能向上に努める。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備 更新面積 376ha</li> <li style="padding-left: 40px;">保育面積 1,561ha</li> <li>路網整備 開設延長 8.6km</li> <li style="padding-left: 40px;">改良延長 16.0km</li> </ul> </li> <li>・ 総事業費 2,256,842 千円 (税抜き 2,051,674 千円)</li> </ul>
費用便益分析	<p>総便益 (B) 8,068,948 千円</p> <p>総費用 (C) 2,694,256 千円</p> <p>分析結果 (B/C) 2.99</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される</p>
評価結果	<p>事業実施地区において、新規要望箇所チェックリストに定められている必須事項の評価内容を満たすとともに、優先配慮事項の事業の有効性や効率性等が認められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資することや、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。  また、路網整備では、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所の整備を優先することや、森林整備事業箇所へのアクセスを向上させる路網設計を採用することにより、コスト削減を図ることとしている。  これらについては、費用対効果分析の結果からも事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画等に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul>

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業+林道等整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：熊本県

施行箇所：緑川森林計画区

(単位:千円)

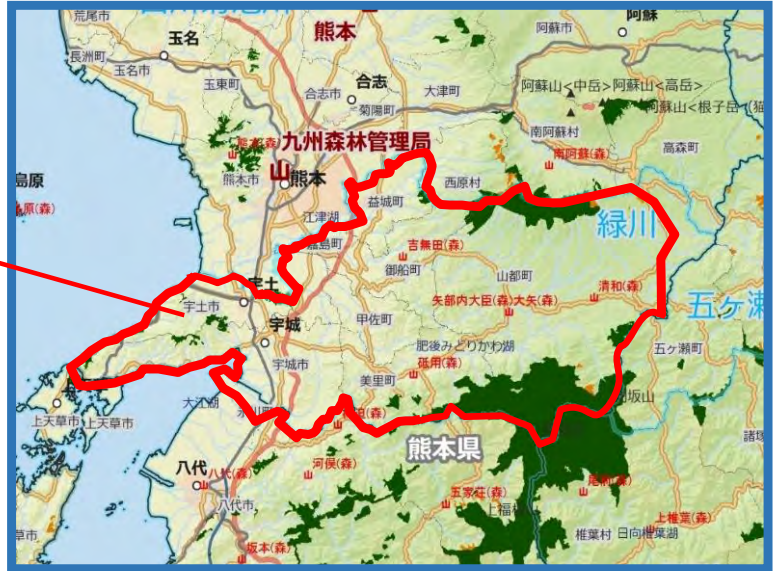
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,554,959	
	流域貯水便益	364,639	
	水質浄化便益	1,417,180	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,089,882	
環境保全便益	炭素固定便益	355,433	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	111,894	
	木材利用増進便益	69,689	
	木材生産確保・増進便益	546,843	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,558,429	
総 便 益 (B)		8,068,948	
総 費 用 (C)		2,694,256	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,068,948}{2,694,256} = 2.99$		

# 令和5年度 林野公共事業評価

「令和6年度新規採択事業に係る事前評価実施計画区」位置図



## 緑川森林計画区 (熊本森林管理署管内)



### 森林整備

ドローンによる苗木運搬の状況



植栽作業の状況



### 路網整備

改良(舗装準備工)



改良(コンクリート舗装)

